

漣標

Miotsukushi

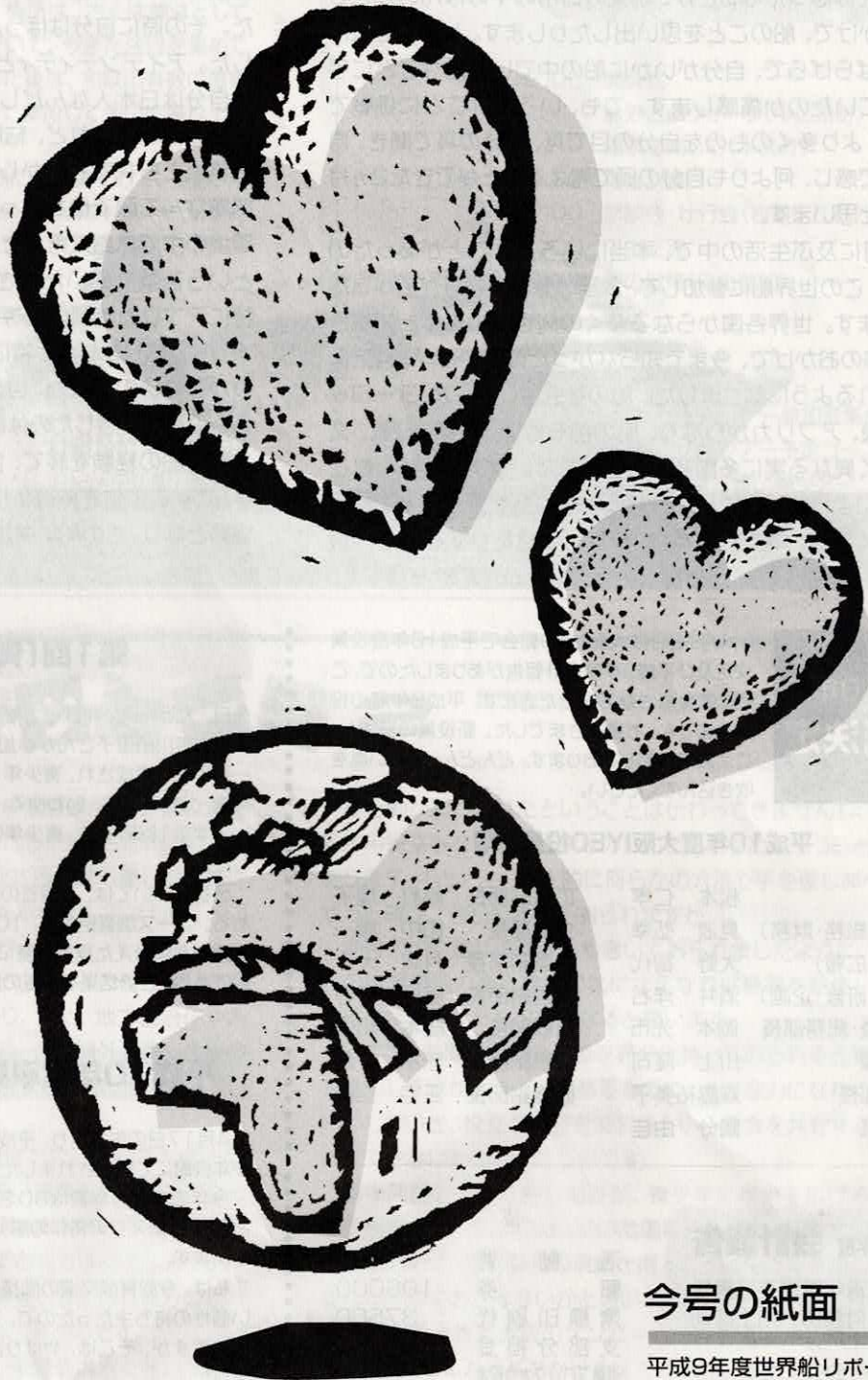
1998年6月16日発行

No. 68

MIOTSUKUSHI

大阪府青年国際交流機構

会長 松本 仁孝



今号の紙面

平成9年度世界船りポート
平成10年度大阪IYEO役員
近畿ブロック大会締切迫る!
決定リレーメッセージ②
各事業実行委員会募集!

平成9年度世界船REPORT

私にとっての世界青年の船

第10回参加青年 瀬上晶代

世界船での2カ月は本当にいろんなことがありすぎて、一言では言い表わせません。その時は本当に無我夢中の2カ月間で、今になってあの時はあんな風だったとか、あんなことそういえば思ったなあとか、現実の日常の中のほんのふとしたきっかけで、船のことを思い出したりします。しかしそれは本当にばらばらで、自分がいかに船の中でいろんなことに手を出していたのか痛感します。でも、いろんなことに挑戦できた分、より多くを自分の目で見、自分の耳で聞き、自分の肌で感じ、何よりも自分の頭で考えることができた2カ月だったと思います。

2カ月に及ぶ生活の中で、本当にいろんなことがあったのですが、この世界船に参加して、本当の意味で視野が広がったと思います。世界各国からなる多くの同世代の青年と知り合え、彼等のおかげで、今まで知らなかった国のことが、身近に感じられるようになりました。船の社会は、アジア、ヨーロッパ、中東、アフリカからなり、肌の色も違い、言葉、宗教、文化も全く異なる実に多国籍な社会でした。今まで体験したことのないような社会でした。実際にその国で暮らす人々から直接聞く話は、本で読んだり、テレビを見たりするのは違

い、その違いを認識するだけではなく、自分を見つめ直すいい機会となりました。そういった意味ではディスカッションの時間や、単に友達としゃべっているときに痛切に感じました。例えば、人種問題(racism)のトピックでのディスカッションは大変苦勞しました。最近までアパルトヘイトが問題になっていた南アフリカのような国もあれば、日本のような関心度が低い国、内部ではたくさん抱えているイギリスやスリランカ、その他たくさん背景をみんなが持ちながら、それぞれが意見を述べるわけですが、みんなが実際に自分の経験に基づいて話すので、問題の重みをさらに強く感じました。その時に自分はほんとうに日本人なんだと痛感しました。アイデンティティというとなんだか仰々しいですが、結局自分は日本人なんだし、船に乗っている人だけが日本人すべてではないけれど、結局自分が発した一言一言は日本人の発言ととられてもおかしくはないんだ、と思いました。人種問題なんて頭ではわかっていても、やはり今まで育ってきた環境の中で真剣に考えたことがあったらどうか。他にも平和という言葉聞いたとき、自国の平和もままならない中で、特にアフリカ諸国の彼等にとっての平和という言葉の重みをずっしり感じました。特に、南アの青年たちが何かはっきりとわからないのですが、自分たちの政府が国に対する誇りというものを強く感じたのは印象的でした。

この船の経験を経て、自分に何ができるのかまだわかりませんが、この世界船は私にとって、ほんとうにかけがえのない経験となり、この船に参加できたことを感謝しています。

平成10年度
役員決定

4月12日の大阪IYEO総会で平成10年度役員決定及び平成9年度会計報告がありましたので、ここにご報告させていただきます。平成9年度の役員の方皆さん、お疲れさまでした。新役員の方皆さん、ご活躍を期待しております。どんどん、新しい風を吹き込んでください。

平成10年度大阪IYEO役員名簿

会長	松本 仁孝	広報副部長	嶋村 理子
副会長(総務・財務)	見浪 弘幸	企画部長	田中 康一
副会長(広報)	大野 智代	企画副部長	月岡 大介
副会長(研修・企画)	酒井 洋右	企画副部長	藤原 千尋
事務局長・総務部長	岡本 光市	研修部長	藤本 和子
財務部長	川上 隆司	研修副部長	赤木 功
財務副部長	森脇祐美子	研修副部長	三宅 仁美
広報部長	國分 由佳		

平成9年度 会計報告

大阪府青年国際交流機構
財務部 川上隆司

収 入		支 出	
前年繰越金	104930	活動費	51809
年会費	120000	郵便券	108000
雑収入	63299	濡標印刷代	37560
		支部分担金	50000
		近畿ブロック大会税金	5000
		通信費	9465
		振込料	630
小計	288229	小計	262464
		次年度繰越金	25765

第1回「青年政策会議」開催

先日、大阪府青少年課の主催で、青年政策会議が開かれ、大阪IYEOを代表して吉川由里子さんが参加しました。この会議は、青年団体のリーダーを中心に構成され、青少年(府内の中高生)のニーズ把握調査の企画・実施・分析をする。いわゆる、若者による若者の調査である。

まず第1回目では、青少年の視点で問題の現状と課題を把握し、検証した。

分析については、有識者のいけんも聞き、より専門性を高める予定である。ニーズ調査結果は、10年版「府青少年白書」に掲載し、また、ニーズ調査を踏まえた提言を基に、11月の「青少年府議会」で議論を行う予定である。この結果を今後の計画づくりに反映して欲しい。

平成10年度事業参加者選考試験が終了

4月17日の午後より、平成10年度事業参加者選考試験が大阪府立青少年会館にて実施されました。

今年の応募者総数は80名で、内訳は育成交流38名、世界青年の船27名、東南アジア青年の船14名、日中・日韓10名(渉外1名含)となっています。

私は、今回育成交流の面接に携わりました。受験者一人一人が素晴らしい個性の持ち主だったので、すべての人を通してあげたい気持ちになったのですが、そこは、やはり試験、採点表に従って採点させていただきました。

3つのグループの面接試験が終わった後、全体の評価会をし、大阪府としての推薦団員を決定しました。この一次合格者は東京で行われる英語・面接の二次試験を5月23日(日中・日韓)、5月24日(育成交流)、5月31日(東ア船)、6月7日(世界船)に受けられるのですが、昨年より一人でも多くの合格者ができるように期待しています。(松本仁孝)

締切迫る! IYEO近畿ブロック大会

古の郷、和歌山で
大いに語り合おう!

今年の近畿ブロック大会は、和歌山県主導で各府県から実行委員を募って進める形をとっています。近畿各府県がコミュニケーションを深めていくための新しい試みです。場所は、古くは参道として多くの人が歩いた道が昔のまま残されていて、今また注目を集めている熊野古道。気持ちよくハイキングした後は、和歌山有数の温泉地でゆったりくつろげます。ぜひみんなで参加して大いに盛り上げましょう!!

締切は6月5日でしたが、急げばまだ間に合いますので、至急、川村(FAX:0738-42-0964 E-mail : kaiyoukai@vaw.ne.jp)さんまでお申し込みください。お問合せは (080-794-3753)

日時:平成10年7月4(土)~5(日)日

場所:メイン会場(和歌山県中辺路町、古道ヶ丘)

宿泊先:緑の郷・古道ヶ丘(富田川沿いの丘に広がる野外活動施設)

会費:8000円

■プログラム

7月3日(金)	15:00	代表者会議(於:和歌山市)※代表のみ
7月4日(土)	10:30~11:00	受付(JR紀伊田辺駅)
	11:15	会場へ出発(バス移動)



7月5日(日)	12:00	開会式 熊野古道ウォーク(中辺路町) 温泉を楽しむ(本宮町)
	17:00	宿舎到着
	18:00	懇談会・壮行会(古道ヶ丘野外にて)
	21:00	自由交流
	5:00	朝の散策(自由参加)
	8:00	朝食
	9:00	帰国報告会
	11:00	閉会式
	12:00	オブショナルツアー参加者集合 オブショナルツアー予定コース (1)白浜町買い物ツアー (2)中辺路町陶芸体験コース

尚、当日は歩ける靴と服装でお越しください。また、小雨でも歩きますので、お天気によってはカッパ等もご用意ください。

リレーメッセージ 2

第5回日本青年海外派遣東南アジア班(S.38年)
賀元 澄子

この会の構成メンバーも年齢差や価値観が大きく広がり、「オタクらの好きなようにしたはったらいいわ」というような感覚で過ごしておりましたので、今さら先輩の優しいお姉さんの一人として若い皆さんに「こんな会にしてほしい」という希望をと言われても困るのですが…。

昨今、世界地図で探さなければどこにあるのかさえわからない国へも日本人が行くようになり、また、地方自治体や各種青少年団体からの機会も多くなり、この海外派遣も余程の魅力を加味しなければ応募者が減ってしまうことになってしまいますね。

総務庁の海外派遣者の一員に選ばれているいろいろな国へ行き、さまざまな交流を通じてより深い理解を持つようになられたはずなのに現在の生活に時間的な余裕がなく、わかっているにもかかわらず取り組めない状態になっておられるのでしょうか。

帰国後、世界を視野に入れた活動をしておられる方のことや、内容が伝わってきていないように思うのです。

かつて交流を深めた人達の国で、旱魃や洪水で苦しんでいるとか、地震や多くの難民が国を捨てて隣国へ逃げて行かなければならなくなった等の様子がテレビや新聞で報道されてもボランティアとして「みおつくし」の愛読者からタイムリ

ーな行動が起こされたということは伝わってきませんし、何らかの役立ち方があるはずなのに…とじれったく思うこともあります。もっとも、個人的に何らかの方法で手を差し伸べ、ずっと続けて居られる人もおられますが…。

前号の中で酒井洋幸さんも書いておられましたように、現在の情報機器の進歩でその気にさえなれば機器を駆使して的確な情報の収集も可能になると思います。

そこで、時間や労力?知恵を充分に持っておられる先輩とも協力して確かな手応えのあるものに、大きな力になれるものにしていき、役立つ喜びを味わうという機会を共有することはできないものかと思うのです。

事後活動の生きた取り組みが、青少年に視野を広げるための機会づくりをしていただいた国に対しても、職場や組織や地域の中で、それなりの信頼を得ることになったお返しの要素にもなるのではないかと思います。

ホソネで生きる大阪のメンバーとして若者が主導権を握り、先輩たちにハッパをかけるほどの力強い意気込みを感じさせる取り組みを共に考え、実行する場になればいいなと思っています。

I N F O R M A T I O N B O A R D

募集してます!

平成10年度 派遣団員

環太平洋地域青年交流事業

この事業は、ホームステイで生の生活に触れたり、観光旅行では訪れることのできない施設を訪問したり、現地の青年と交流したりするもので、9月に10カ国から来日する50名の青年に会う交流プログラムに参加し、その青年たちと、また訪問地で再会することができます。



- 訪問地 1班 アメリカ(ミシガン州・カリフォルニア州)
2班 マレーシア(クアラルンプール)・オーストラリア(クィーンズランド州)
3班 タイ(チェンマイ・バンコク)・ニュージーランド(クライストチャーチ)

- 実施期間 平成10年10月27日(火)～11月9日(月)の14日間
○参加費 250,000円(事前交流研修・事後研修費を含む)
○募集人員 30名(各班10名)
○募集期限 7月10日(金)消印有効
その他詳しいことは、ユースサービス「大阪環太平洋地域青年交流事業」係(06-942-5146)まで

実行委員&ボランティア

- ①今年も、ユースギャザリングインオオサカ(YGO)が、9月11日(金)～13日(日)の3日間、能勢にある青少年野外活動センターで実施されます。今年のテーマは、『国際交流と世代間交流』。世代を超えて国境を超えて多くの人が集い、楽しくバラエティーに富んだプログラムを行い、交流・親睦を深めます。この事業の特色の一つは、複数の組織が共同運営するという事です。実行(拡大)委員会は、大阪府、大阪市、YMCA、YWCA、Y・H、関西テレビ厚生文化事業団、毎日新聞、ユースサービス大阪、インターコミュニカ大阪で構成されています。わが大阪IYEOは、このインターコミュニカ大阪の構成メンバーの一員なので、実行委員、運営委員を送り出すことができます。そこで、今回この委員になる人を募集しますので、興味のある方は、松本(06-761-3256)までご連絡ください。
- ②10月24日～29日に行われるアジア太平洋青年招へい事業の実行委員を募集しています。派遣国はベトナム・オーストラリア・キリバスの予定(未定)。
- ③10月開催予定のワンワールドフェスティバル(インターピープル主催)のお手伝いをしていただくボランティアスタッフを募集しています。
- ④12月14日の国際交流フォーラムの実行委員を募集しています。7月から、毎月1回程度、委員会を開いていく予定です。
- ★上記3件について興味のある方は、岡本(06-975-0801)までご連絡ください。

平成10年度会費納入のお願い

このところしばらく(全然?)会費を納入していない...という人は、「みおつくし」を送らなくてよいという意思表示をされた方以外は、国際交流事業推進のためと、ぜひ会費納入にご協力ください! 昨年実施させていただいたアンケートの結果を生かして、今後はより実りのある事業を実施したり、「みおつくし」の内容も充実させていきたいと思っておりますので、そのためにも、ぜひ、会費のほうをお願いいたします。

I Y E O の ホーム ページ

<http://www.iic.or.jp/iyeo/>

国内・海外とメーリングリストを使って回・事業を越えてのネットワークが広がります。メーリングリストへ登録したい方は、岡本まで(PDE02564@nifty.ne.jp)ご連絡ください。また大阪では「滞標」以外にIYEO情報を中心にメールで会員の皆さんに提供していきたいと思っています。E-mailアドレスをお持ちの方はE-mail:PDE02564@nifty.ne.jp岡本まで、ご連絡ください。

青春後記

いよいよ待ちに待ったワールドカップが開幕した。以前、スポーツは国際交流の有効な手段になりうると書いたが、逆にワールドカップがきっかけで戦争になったケースもあるという。それだけこのワールドカップは、世界中のサッカー選手とファンにとって意味のある大会なのである。この大会に出場することのできないカズ。20年も前からこの夢のためにがんばってきた男の意地と新たな決意のようなものが、帰ってきたときの記者会見の時の目に現われ

ていたような気がする。この決断を下した岡田監督も苦しかったに違いない。だが、やはり、カズは、代表に残してほしかった。たった一度でいいから晴れ舞台に立てたら、カズの今までの苦勞も報われたろうに...と思うと悔しくて涙が出るほどだった。今は、何の世界でも結果を出さないと評価されない。才能や努力がある程度結果に表われることは確かだ。しかし、結果だけに振り回されていていいのだろうか。人に夢と感動と勇気を与えるスポーツ。スポーツは戦争ではない。スポーツは商売ではない。もう一度スポーツの持つ意味を考え直すときが来ているのかもしれない。2008年オリンピック開催に向けて。